

令和7年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	松本市音楽文化ホール			所管課 TEL	文化観光部文化振興課 内線3153				
所在地	松本市大字島内4351番地			設置年月	昭和60年4月 (同年10月開館)				
施設設置目的	市民の音楽文化の振興と福祉の増進を図るため								
施設概要・設備	・メインホール：音楽専用ホール（固定席693席） ・小ホール：多目的ホール（可動席約180席） ・練習室等：第1～第3練習室								
指定管理者名（選定方式）	一般財団法人松本市芸術文化振興財団（特命）								
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）								
指定管理者の 主な業務	・施設維持管理業務 ・施設貸館業務（利用許可、利用料金の決定及び徴収） ・文化事業（コンサート招聘事業、自主企画事業等）								
利用料金制の導入	あり 利用料金制委託料併用方式								
施設の利用状況	利用区分等	利用目標(人／円)	利用実績(人／円)	対目標比（％）	対前年比（％）				
	年間利用者	80,000	85,672	107.1%	123.8%				
	施設利用料金収入	18,300,000	18,859,090	103.1%	112.4%				
	事業参加人数	14,080	13,601	96.6%	141.3%				
	事業収入	30,000,000	28,538,295	95.1%	243.8%				
	(特記事項) 開館から40周年を迎え、多数の特別事業を実施した。事業収入、集客目標値は例年より高く設定したため目標には達しなかったが、さまざまなメディアを活用することで広い範囲に広報・周知ができ、多くの方に参加・利用・来場いただけた1年となった。								
事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（令和7年度）				市の収支				
	収入 (歳入)	年度計画額		収支実績額		令和7年度決算		令和6年度決算	
		項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
		指定管理料（利用促進含む）	65,680,000	指定管理料（利用促進含む）	65,680,000	公共施設目的外使用料	467,340	公共施設目的外使用料	490,950
		補助金収入	30,000,000	補助金収入	30,000,000				
		利用料収入	20,300,000	利用料収入	18,859,090				
		事業収入	30,000,000	事業収入	28,538,295				
		雑収入	680,000	雑収入	808,980				
		計	146,660,000	計	143,886,365	計	467,340	計	490,950
	支出 (歳出)	人件費	38,430,000	人件費	35,280,896	指定管理料	54,590,000	指定管理料	54,590,000
		【内訳】		【内訳】		補助金	30,000,000	補助金	30,000,000
		給料手当	33,290,000	給料手当	30,739,224	利用促進委託料	11,090,000	利用促進委託料	11,090,000
		法定福利費	5,140,000	法定福利費	4,541,672	事務費等	5,196,412	事務費等	29,184,000
		施設管理費	58,230,000	施設管理費	63,857,182	【内訳】		【内訳】	
		【内訳】		【内訳】		・看板設置用地借上料		・看板設置用地借上料	・舞台機構修繕
委託費		39,900,000	委託費	35,881,034	・備品購入		・備品購入	・配線、電話工事	
燃料費		2,800,000	燃料費	5,993,474	・各種工事		・南側歩車道復旧		
光熱水料費		10,830,000	光熱水料費	13,613,475	委託料	215,496	委託料	44,310	
その他		4,700,000	その他	8,369,199	【内訳】		【内訳】		
施設事業費		50,000,000	施設事業費	46,656,016	・電子決済業務		・電子決済業務		
【内訳】			【内訳】		・定期点検				
委託費		20,960,000	委託費	21,539,769					
諸謝金	12,710,000	諸謝金	12,506,269						
その他	16,330,000	その他	12,609,978						
	計	146,660,000	計	145,794,094	計	101,091,908	計	124,908,310	
損益	0		-1,907,729		差引	-100,624,568	差引	-124,417,360	
(特記事項) 管理費の燃料費、光熱水料費等については物価高騰の煽りを受け収支額にまで影響を与えた。									

2 市（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書（提案書）の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。
評価の手段は、実績報告書（毎月）及び事業報告書（年度終了時）の点検並びに立入検査（随時）等によるものです。

評 価 の 基 準		
A	(1. 0)	高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	(0. 7)	事業計画書（提案書）どおり適切に実施されており、問題は見られない。
C	(0. 5)	事業計画書（提案書）どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分が確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	(0. 0)	不適切な部分が確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。

小計
66.6

大項目	中項目	評 価 項 目	配点	評価	評価の根拠
管理基準対応	市民の平等利用	1 合理的な理由なく利用者を制限や優遇するなど、市民の平等な利用を妨げていないか	2	B	利用者対応は公平でアンケートで問題は見当たらない
	職員の労働条件	2 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の正当な労働条件を確保しているか	2	A	就業規則と雇用契約は整備されている
	危機管理対策	3 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	2	B	緊急時用の連絡体制がある
		4 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応しているか	2	B	事業リスクに保険等で備えている
	個人情報保護	5 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護について、書類・電子データ等のセキュリティ対策を講じているか	2	B	管理法人は市方針に従い対策実施している
	情報公開	6 情報公開や監査請求を理解し、適切な対応を行っているか	2	B	市基準通りの対応を行っている
管理能力	団体の概要	7 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	4	A	黒字化達成を達成している
		8 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	2	A	会計事務所と連携し支援体制整備している
	管理運営	9 市が示す設置目的及び施設運営方針を理解し、仕様書に示した業務を適切に行っているか	5	B	業務は仕様書どおりに実施している
		10 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	3	B	市と緊密に連携し責任ある運営をしている
	組織・体制	11 職員体制や配置人員は適切であるか	3	B	運営は適切である
		12 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	2	B	施設長中心に適切な人員配置をしている
	働き方改革の推進	13 働き方改革に積極的に取り組んでいるか	2	B	国市方針に沿った取り組み実施している
	職員研修・人材育成	14 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか	2	B	職員研修は計画的に実施している
		15 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか	3	B	会計書類は正確で問題は見当たらない
		16 業務の第三者委託の範囲、委託先は適切に実施されているか	2	B	必要時は専門外部者へ業務委託している
	経理及び事務処理等	17 業務報告や事業報告を適切に作成し、期限までに報告されているか	3	B	実績報告は期限内に提出している
		18 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練は実施されているか	4	B	安全対策に基づく定期訓練実施している
施設の運営	業務内容	19 管理区域、業務範囲についての確に把握し、適切に管理運営を行っているか	4	A	職員が点検・簡易修繕を適切に行っている
		20 施設の設置目的を把握し、施設の効用を最大限に発揮する事業運営を行っているか	5	B	施設特性を踏まえて運営されている
		21 年間の事業量が適切に実行されているか	3	B	問題は確認されていない
	地域との連携	22 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか	2	B	住民と町会の要望に応え関係は良好である
	利用促進	23 施設の利用率の向上に努めているか	4	B	ホームページと広報誌で情報発信している
	利用者サービス向上	24 利用者の利便性や満足度を高めるため、具体的な方策を講じているか	5	B	利用者要望に柔軟対応し利便性の向上を図っている
	障がい者等への配慮	25 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか	3	B	来館者に応じた対応を実施している
	苦情・要望等への対応	26 利用者アンケート等を適切に実施し、苦情や要望、意見等に適切に対応しているか	3	B	アンケート活用で業務改善している
	セルフモニタリング	27 セルフモニタリングが適切に行われているか	3	B	セルフモニタリング書類を適切提出している
	環境への配慮	28 施設運営における環境負荷の低減に向けた具体的な目標を定め、認定取得等、その達成に向けた取組みが講じられているか	2	B	市方針でエネルギー削減に努めている
経済性	経費削減・業務効率化	29 経費節減や業務効率化に取り組んでいるか	5	B	未使用時は照明空調停止で経費削減している
	事業報告及び決算	30 支出総額は事業計画書の範囲内か、又事業計画とおり収入が確保できたか（又は、利用者を確保できたか）	4	B	事業収入は下回るが施設利用料金収入は上回っている

3 利用者による評価

(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容)

利用者アンケート	実施時期	①毎自主事業開催時 ②利用者懇談会実施時
	調査対象	①来場者全員 ②利用者団体代表者等
	調査方法	①アンケート ②意見・要望聴取
調査結果	【別紙】のとおり	
利用者からの意見 要望・苦情等	【別紙】のとおり	

4 指定管理者による自己評価

令和7年度の 自己評価	【自己評価】 開館から40周年となる記念の年度であったため、多数の特別自主事業を計画し実施した。招聘事業だけでなく、利用団体との共同主催事業、市民参加型事業においても満足度の高い公演を実施できました。来館者数も前年度に比べ増加し、主催事業だけでなく貸館利用においても1件当たりの来場者数が増えていることが実感できました。
要望・苦情への 対応状況	【対応状況】 自主事業の実施に当たっては「全席自由」の公演が不評であるため、できる限り「全席指定」で販売するように努めたい。なお、公演の特性に応じて、ロビー開場など臨機応変に対応している。アクセスについては令和8年度以降より改善に努めたい。 登録団体の要綱変更やセッティングなど、利用者からの要望にはルールに則ったうえで柔軟に対応し、利用者に過度な負担をかけないように努めます。
今後の目標	・施設利用については、料金改定に伴い常連利用者だけでなく新規利用者に対しても正確な案内に努め、リピーターの更なる拡充を目指します。また、老朽化した設備の更新に向けて準備を進めます。 ・自主事業においては、来場者の増加とともにホール友の会「ハーモニーメイト」の会員が増えていることを受け、よりニーズを捉えた事業を展開するとともに、会員数・来場者数の維持に努めます。 ・令和6年度に引き続き好調であったオルガン事業をさらに魅力的なものにできるよう努めるとともに、県内のコンサートホールの中で唯一であるメインホールの大オルガンの魅力をより多くの市民に届けられるよう、関係者と協力しつつ発信を続けます。また、令和8年度に実施予定であるオーバールールの進捗を市と協力し適切に管理します。

5 市(所管課)による総合評価

総合評価 (4段階評価) の基準		
A	(1.0)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B	(0.7)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C	(0.5)	アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D	(0.2)	改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

【自主事業を実施している場合の評価】
自主事業に積極的に取り組み、地域の住民に対して文化・芸術の提供やその利用促進に貢献している。企画には工夫が凝らされており、施設の特性を活かした運営が行われている点を評価できる。

【個別施設ごとのテーマに対する評価 ※設定がある場合】

【総合的な評価】
指定管理者は、施設の設置目的とその特性を十分に理解し、適切な運営を行っている。

配点	評価
10	B
点数	7

合計点数

73.6

判断結果

適正

判断の基準	
75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	※「不可」

※「不可」の場合は、指定管理者の取消処分を含め、早急な改善対応の検討が必要

【別紙】

3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	①毎自主事業開催時 ②利用者懇談会実施時
	調査対象	①来場者全員 ②利用者団体代表者等
	調査方法	①アンケート ②意見・要望聴取
調査結果	・演奏会のアンケートでは、概ね高評価をいただき、「FILMBRASS」では初来場の方も多く4割を超える回答を得ることができた。 ・ホールの設備について、トイレの清潔さをはじめ、開場前の待機場所の整理などをブラッシュアップできたことにより、運営スタッフへの高い評価を多くいただくことができた。 ・一方で、満席公演となると駐車場の台数が足りない、夜公演の車以外の手段の不便さなどについて指摘があり、アクセスについての課題が浮き彫りになった。 ・毎年開催している利用者懇談会にて利用者の意見、要望の吸い上げができています。利用料金の改定、登録団体制度の要項についてなど、利用するにあたって利用者が重要視する内容については、今後も丁寧に説明をしていきたい。	
利用者からの意見 要望・苦情等	◎自主事業（アンケートから抜粋/原文ママ） ・（新人演奏会）若き演奏家の方々が前向きに頑張ってこられた成果を発表されるこの演奏会にいつもパワーをいただき、毎年楽しみに聴いています。 ・オルガンの魅力は本当に多様であると知りました。大きな教会のような荘厳な響きから室内楽や笛のアンサンブルのような優しい音色まで、幅広く楽しませていただきました。 ・（石田組）オルガンを使って松本にゆかりのある方々のプログラムが、ホールの良さを生かしつつ松本在住の人が多いただろうと配慮して決められたのかなと思うと、聞き手のことを考えてくれているコンサートだなと嬉しく思いました。 ・トイレがきれい、ハンカチを席に置いたままだったのでパーパータオルがおいてあり助かりました。スタッフの対応が親切で嬉しいです。 ・いつもコンサートパンフレットの束をいただくのですが、バラバラと落としたり正直扱いに困っていました。考えてくださって特製クリアファイルに入れていただき助かりました。 ・暑い日であったが早めに入館させてもらいありがたかった。 ・音文は、公共交通の時刻等で、自家用車以外でのアクセスが厳しい、周辺に時間を調整できる店舗や飲食店がない。 ・パイプオルガン公演はできれば日曜日ならば夜公演の方がありがたいです。 ・駐車場が一杯になってしまうのが早い。JAの駐車場もあることの看板があれば良かったかなと思います。 ・休けい中に飲み物が買えるとうよかったと思いました。 ・開場前のこと。足の悪い老人とか車イスの方とかは、一般の行列とは別に早めに入場させてあげても良いのでは？と強く感じた。チケット購入に際し、全席指定にすれば良いと思う。 ◎貸館事業（利用者懇談会から） ・登録団体の規定に新しい項目が追加（*本番利用の実績）されたのは、何か問題があったためか。公演を行わないと登録できなくなるのか。また、希望した日程が抽選で取れなかった場合、登録団体から外れるのか。 ・小ホールの客席用のスタッキングチェアは都度並べなければいけないか。前の利用者に片付けずに残してもらい、そのまま使うことはできないか。	